

## 高山駅西地区まちづくりワークショップ結果

## ○第1回～いまを知ろう～

1. 日時 令和4年6月26日（日） 午前9時00分～12時00分
2. 場所 市役所2階201・202会議室  
※概要説明後、駅西地区をまち歩き
3. 出席者 参加者 15名、欠席者 3名  
事務局 企画課3名、福祉課1名、生涯学習課1名、都市計画課1名
4. 内容
  - ・ワークショップの概要説明
  - ・高山駅西地区まちづくり構想の方向性などの説明  
市が明示している構想の方向性、基本的な考え方を説明
  - ・駅西地区まち歩き  
A～Cの3グループに分かれて駅西地区をまち歩きし、地区の現状や特徴、課題など感じたことを記録  
※高山市民文化会館、総合福祉センター、高山駅西交流広場では施設管理者などから施設概要を説明
5. 当日の様子
  - I. 概要説明の様子



# I. まち歩きの様子



## ○第2回～みんなの意見を聞こう～

1. 日時 令和4年7月4日（月） 午後7時00分～9時00分
2. 場所 市役所2階201・202会議室
3. 出席者 参加者 17名、欠席者 1名  
事務局 企画課3名、子育て支援課1名、生涯学習課1名

### 4. 内容

#### ○グループワーク

- ・前回の概要説明、まち歩きを踏まえて、グループごとに地区の現状や特徴、課題など感じたことを意見交換
- ・地区の新しいまちづくりに向けて、ほしい機能や施設、取り組みについて意見交換

### 5. 当日の様子

#### I. グループワークの様子



## II. 意見交換の結果

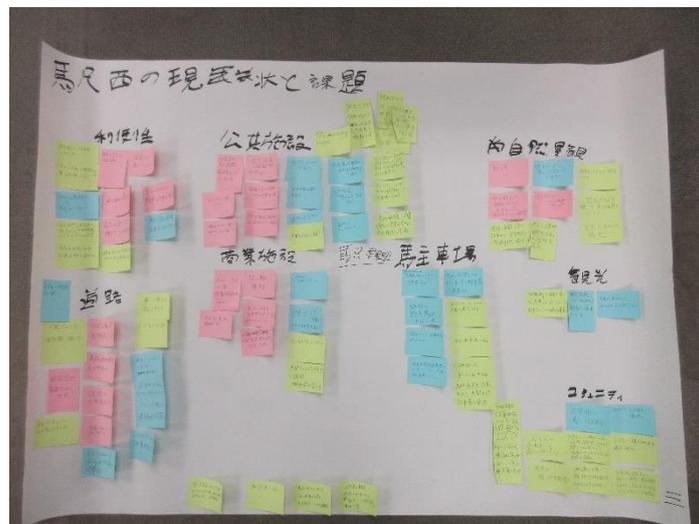
### ○Aグループ



### ○Bグループ



### ○Cグループ



## ○第3回～未来の姿をえがこう～

1. 日時 令和4年7月11日（月） 午後7時00分～9時00分

2. 場所 市役所2階201・202会議室

3. 出席者 参加者 17名、欠席者 1名  
事務局 企画課3名、高年介護課1名、生涯学習課1名

### 4. 内容

#### ○グループワーク

- ・ 前回意見交換した結果を踏まえて、新たなまちづくりのコンセプト、方針、実現に向けた具体的な取り組みについてとりまとめ
- ・ グループごとに発表

### 5. 当日の様子

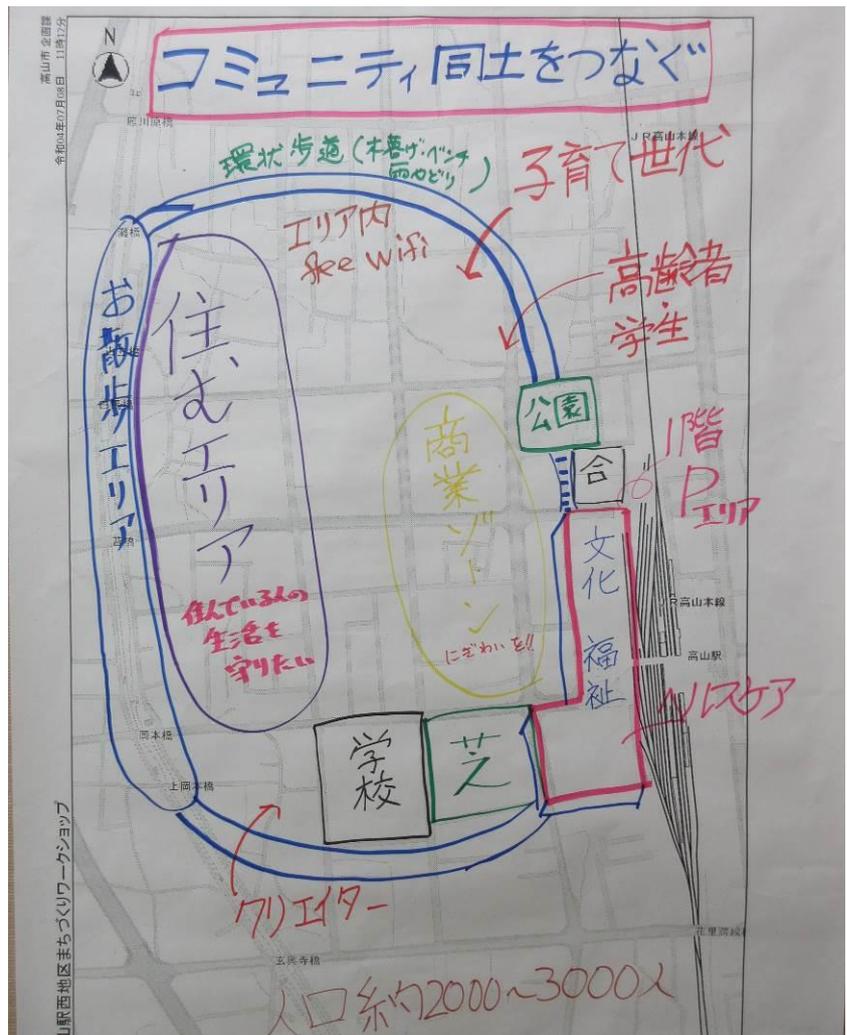


## 6. 発表内容

### Aグループ 5名

○まちづくりのコンセプト

コミュニティ同士をつなぐ



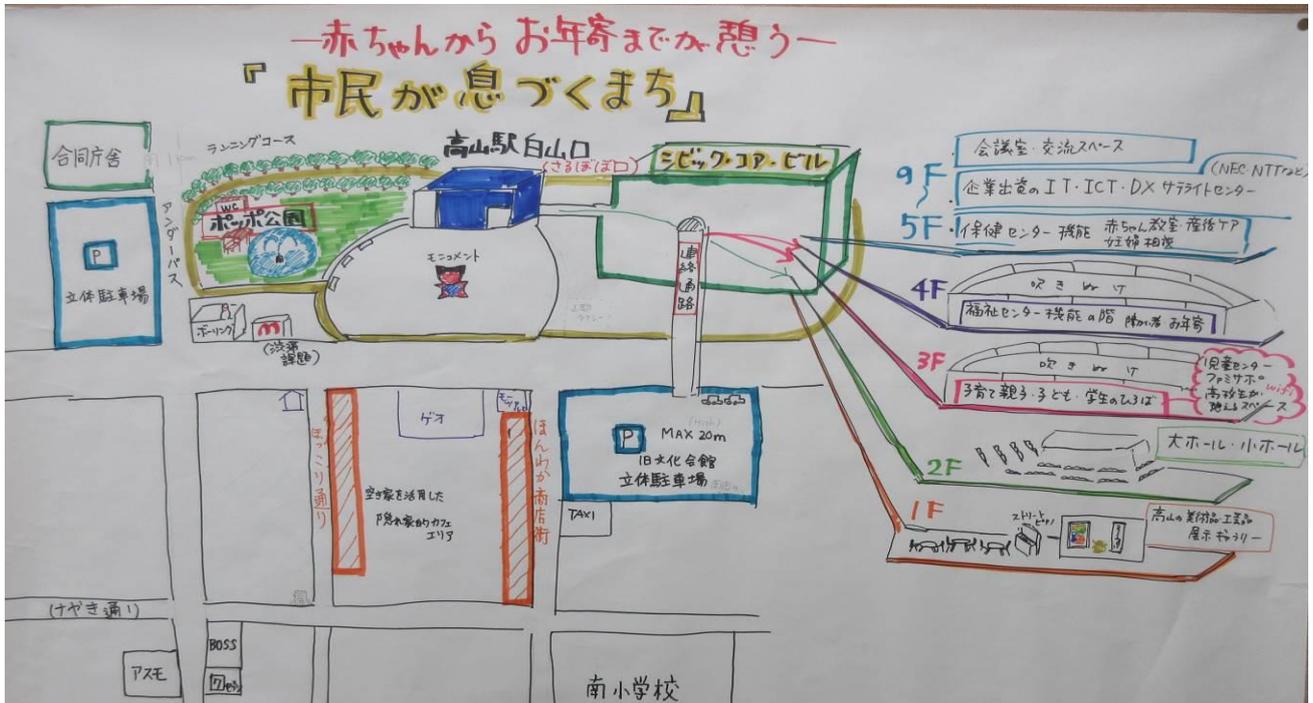
○主な取り組みや考え方

- ・文化福祉に関する3階建て施設の建設し、自由通路と直結することで、高齢者や子育て世代、学生が集まり交流できるようにする。
- ・文化福祉施設の1階は駐車場とし、2階以上は貸館機能を持たせる。
- ・文化会館跡地に芝の公園を整備し、ポッポ公園は現在の倍の大きさに整備。
- ・文化福祉施設の2階と公園を直接通路で繋ぎ、車道に接することなく往来できるようにする。
- ・住むエリアと施設が集中するエリアをつなぐ歩く環状線を整備し、木陰やベンチを設置することで、様々なコミュニティの交流を促進。
- ・コミュニティの交流が活性化することで、商業ゾーンの賑わいも生まれる。
- ・エリア内はフリーWi-Fiを整備することで、映像のイベントなどの開催やクリエイターがまちづくりに参加できるような環境を整備。
- ・みんながこの地区に来たくなるような機能、取り組みが必要。

## Bグループ 6名

### ○まちづくりのコンセプト

—赤ちゃんからお年寄りまでが憩う— 「市民が息づくまち」



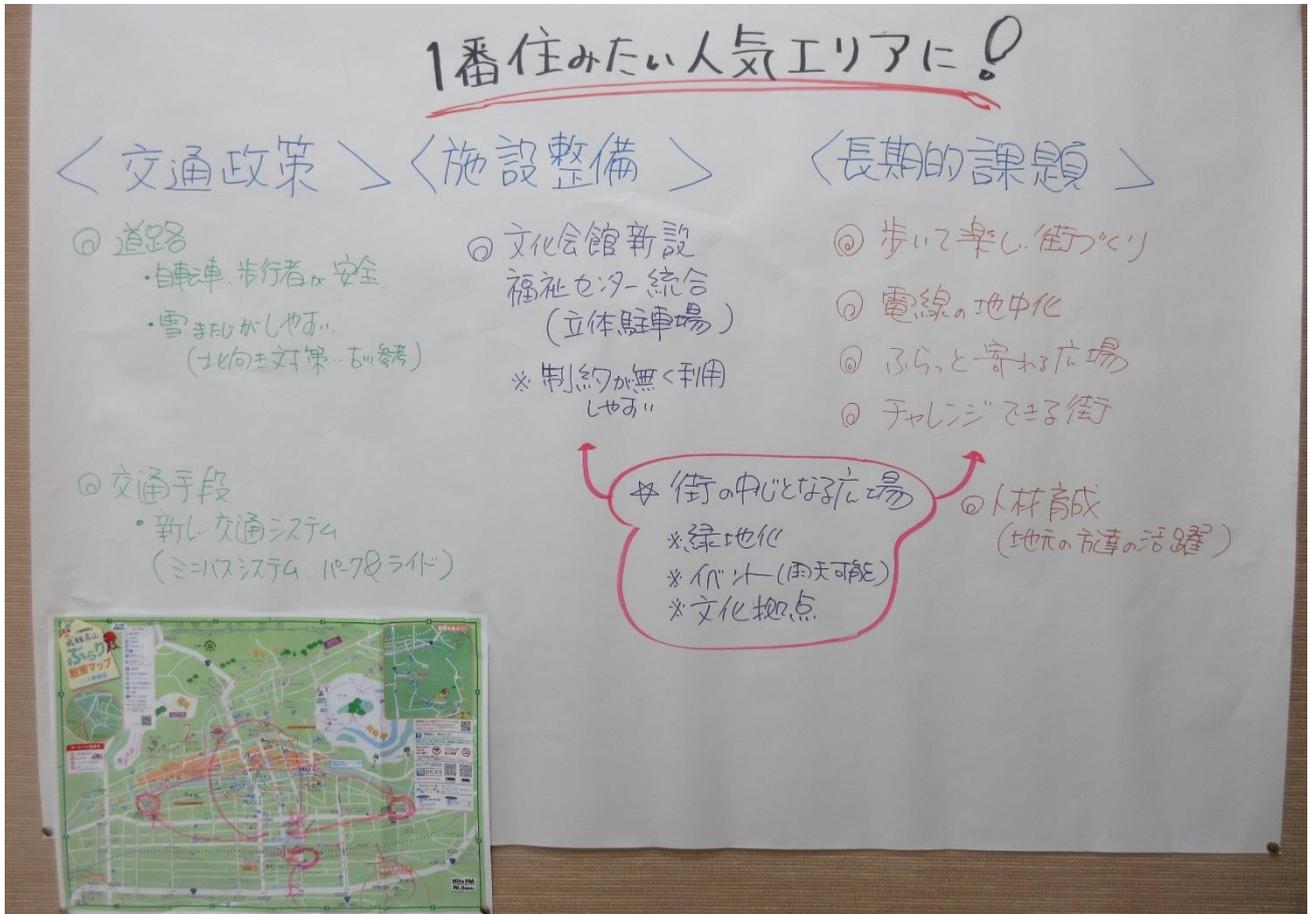
### ○主な取り組みや考え方

- ・ 駅西地区のイメージが薄いため、駅前にさるばのモニュメントを設置。
- ・ 文化会館と総合福祉センターの機能を集約した9階建てのシビック・コア・ビルを建設。
- ・ 1階は高山の美術品や工芸品の展示ギャラリー、市民が憩えるラウンジを整備。
- ・ 2階は大ホール、小ホールを整備。
- ・ 3階はイオンのような吹き抜けを整備しつつ、児童センターやファミリーサポートセンターなどの子育て世帯が利用する機能を整備するほか、フリーWi-Fiを整備して映像を楽しめるなど学生が集える機能を整備。
- ・ 4階は障がい者や高齢者が集えるような福祉センターの機能を整備。
- ・ 5階以上は赤ちゃん教室や産後教室など現在の保健センターの機能や、会議室などの現在の文化会館の機能の一部を整備のほか、企業出資のICTを活用したサテライトセンターを整備。
- ・ 文化会館跡地には立体駐車場を整備し、シビック・コア・ビル3、4階と連絡通路でつなぐ。
- ・ ポッポ公園を駅西駐車場に移設し、ランニングコースを併設するほか、木陰、緑を整備して憩いのスペースとする。
- ・ 居住地域の空家を活用して、カフェなどを誘致し、シビック・コア・ビルに子どもを預けた親がゆっくりすることなどを目的としたエリア「ほっこり通り」を整備。
- ・ 商店街「ほんわか商店街」を整備することで交流機能を促進。
- ・ 西之一色花岡線の商業施設周辺の渋滞は事業者にも協力してもらう。

## Cグループ 7名

### ○まちづくりのコンセプト

1番住みたい人気エリアに！



### ○主な取り組みや考え方

- ・東から西へ開発されてきた高山の発展の経緯を踏まえる。
- ・海外の発展している都市も旧市街と新市街の考え方を分けてまちづくりを進めており、駅西地区も駅東のような高山らしさを求めすぎない。
- ・交通の手段として、電気で走るミニバスが中心市街地を循環できるようにする。
- ・天満駐車場、不動橋駐車場、駅西駐車場を活用したパークアンドライドを推進。
- ・DXを活用して乗客のデータを集めて効率的な運用や他事業への活用を検討。
- ・北向きの住居の除雪対策をすることで、冬季の居住環境を向上。
- ・安全に歩くことができる道路整備。
- ・文化会館と総合福祉センターを複合化することで空いたスペースを活用して、様々なイベントが開催できるようにする。まちの中心に大きな広場を整備するイメージ。
- ・長期的な課題として、「歩いて楽しいまちづくり」、「電線地中化」、「目的が無くてもふらっと訪れることができる機能」、「人材育成に絡めてチャレンジできるまち」、について取り組みを具体化していけると良い。